

7月24日(日) 18:00~ CP赤 GK緑

Aグループ予選 4試合目

日本 25 (14-20, 11-16) 36 ロシア

(戦評)

予選リーグ4試合目はロシア。日本はLW吉岡, LB林, CB澤田, RB金城, RW中山, PV並木, GK榎でスタート。日本は立ち上がりからミスを連発し, 開始3分を待たずに0-3とリードを許す。ここで日本は早めのタイムアウトを取り, 立て直しを図る。タイムアウト明けにはNo.5吉岡のサイドシュートが決まり, そこからはお互いに点の取り合いが続く。日本はNo.14中山, No.15金城が積極的に前を狙い, 得点を積み重ねていく。No.2澤田らもそれに続いていき, なんとか追いつこうとするも, 相手の攻撃が止まらない。日本のオフensiveでアグレッシブなディフェンスに対しロシアは体格を活かしたポストシュート, ロングシュートを得点源に, ダブルポストに移行する攻撃を使い攻めてくる。日本は自分たちのディフェンスのペースにはめようとするも, セーフティなパスを確実に選ばれ, なかなか自分たちの持ち味が活かせない。1点差まで迫る場面もあるものの, そのままじりじりと離され, 前半を14-20の6点ビハインドで終える。

後半に入っても, ロシアの攻撃は脅威なままである。同じような攻撃パターンを使って攻めていることがわかっていても, ロシアの選手に最後に上手に判断されてしまい, 日本はディフェンスにおいて先手を取ることができない。オフenseでは, No.8並木, No.14中山, No.15金城らが身長差を感じさせないシュートを何本も決め, 諦めない姿勢を見せるが, ロシアのディフェンスを崩すことができない。結局後半も押し返すことができず, 最終スコア25-36で敗れる。攻守にわたりロシアに圧倒され, まさに完敗というゲーム内容であった。

これで日本はグループリーク1勝1分2敗。グループリーク突破は次戦に持ち越しとなる。最終戦, ドイツとの試合に勝てば, 決勝トーナメント進出が決定する。この大会の結果の分岐点となる試合に対し, これまでのことを活かして戦うことが求められるだろう。

なお, この試合の優秀選手として, No.14中山が選ばれた。

(個人得点)

7点 並木, 5点 吉岡・中山・金城, 1点 澤田・林・野崎